

2026年4月1日

いのちのことば社の社長交代について

いのちのことば社 理事会
理事長 安藤能成

平素よりいのちのことば社伝道グループの働きにご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。このたび、2026年3月31日付で、岩本信一社長が退任し、4月1日付で峯島平康専務が新社長に就任いたしました。

昨年12月23日付で発表し、本年1月6日に弊社ホームページでも公表しましたように、社内において元職員による多額の不適切な会計処理が発覚いたしました。役員会は、この事態が社内で判明して以来2年余りの期間、事実の究明と再発防止策の策定に取り組んでまいりました。このたび、弊社ホームページで「再発防止策」を発表しましたように、その道筋が整いましたことから、理事会として岩本社長の辞任を受理し、後任の社長に峯島専務を任命する決定に至りました。

今回の不祥事については適宜、理事会は役員会から報告を受けて、必要な助言をしてきましたが、当該元職員からは疑義についての明確な説明を得ることができず、不適切な会計処理の実態解明はいまだ途上にあります。しかしながら、再発防止の取り組みが一定の段階に達したことを受け、弊社年度（6月末まで）の途中ではありますが、3月末をもって社長を交代し、新たなリーダーシップの下で責任を果たしていくことといたしました。

今回の不祥事は、役員・職員一同にとって大きな痛みであり、理事会として重く受け止めております。文書伝道に用いるべき資金の管理不備は、キリストのからだなる教会の一員として、諸教会に仕える超教派伝道団体にあってはならない事態であり、主と教会に対して深くお詫びしなければならないことです。

理事会では今、責任ある管理体制の再構築、信頼の回復、職員の信仰者・社会人としての成熟など、様々な課題に向き合っております。この困難な状況の中で働きを遂行していく次世代の役員ならびに職員たちに、理事会としても引き続き寄り添い、適切な助けと励ましを与え、伝道グループとしての使命を果たしていけるよう、霊的な面でもさらに指導に努めてまいります。

また、不適切な会計処理の問題については、捜査当局および顧問弁護士と連携しながら、最善の解決に向けて進めております。理事会は、通常の経営責任に加えて、これらの重責を担っていく新リーダーがその職責を果たし、いのちのことば社の働きが諸教会の益となることができるように支えてまいります。新役員による体制が軌道に乗ることを見極め、理事長の責もバトンを渡す所存です。

皆様にはご心配をおかけしておりますが、変わらず祈りに覚え、ともに歩んでくださることに深く感謝しております。

引き続き、いのちのことば社の働きのためにお祈りとご支援を賜れましたら幸いです。